

分野：③水①産業（電気）

総合学習環境講座「電気と水の旅」

環境アドバイザー

谷合 宜明

対象 新座市立八石小学校5年2クラス（52人）

所要時間



45分（計90分）

場所 5年生教室

実施時期

令和2年11月5日

概要

電気や水のはじめから終わりまでに触れて、そのいずれを作り出すのにはエネルギーを使ってCO₂排出につながることを学ぶ。

プログラムの
ねらい

電気や水、いずれの場合も大切な資源としてエコライフの一環として自分たちの生活では大事に使う一人ひとりとなっていくことを学ぶ。

プログラムの内容

1 電気の始まりから終わりまで（20分）

- ・発電機⇒送電線⇒変電所⇒学校と旅をしていること
- ・発電機を回すときにCO₂が出ること。

2 水（飲み水）の始まりから終わりまで（20分）

- ・川⇒浄水場⇒地下送水管⇒市浄水池⇒学校
- ・浄水場で水をろ過する時にCO₂が出ること。

3 電気も水も大切な資源だから大事に使おう（5分）

- ・大事に使えば同時にCO₂削減にもなる。
- ・エコライフを実践しながら大事にする気持ちを育てよう。

受講者の反応

電気や水がどのように作られているのかがよく分かった。これから電気や水を大切に使いたいと思います。

